

▼教材を作成する田村さん



田村さんは、関西の大学を卒業後、2年間民間企業に就職していましたが、科学センターの嘱託職員として今年4月から、嘱託職員として科学教室などで指導員を務める田村さんの姿がありました。

父親が教員だったことも影響し、仕事をしながら通信教育で教員免許を取得し、山口県の小学校教員となりました。教員となつて4年目に理科の担当教員に、その後理科専科となり、本格的に理科の勉強をするうちに、その魅力に引き込まれていったそうです。「理科で学習する内容は、大人でも楽しめます。植物・昆虫の採集や授業の実験用に教材を作っているとき、自分も楽しかったです」と田村さん。

科学センターの嘱託職員となつてからも、科学教室の教材を準備するときは、いろいろな研修会で勉強したことやインターネットで調べたことを自分流に工夫し、子どもたちが作りやすいようにしているそうです。科学工作や化学実験をする

と、子どもたちが素直に喜びや驚きを示してくれそうです。子どもたちの感動している姿を見ると「指導員をして良かったな」と思うそうです。また「科学教室などを通して子どもたちに科学をもっと好きになって欲しい。不思議だなと思つたことはそのままにしないで、一歩踏み出して自分で調べたり、実験にチャレンジしたりと、疑問を解決できるようになつて欲しい」と話してくれました。



▲科学教室で指導する田村さん



▲7月の科学教室で使用する予定の科学おもちゃ



科学が存分に 楽しめる場所を目指して

Vol.51

田村 隆史さん
(横山在住)

今年の3月に小学校教員を退職し、4月から科学センターの嘱託職員に。教員時代から関わりがあった理科学習を生かして、科学教室などで指導している。

